

## 第4回草津市多文化共生推進プラン策定委員会議事概要

■日時:

令和3年1月12日(火)14時00分～15時30分

■場所:

草津市役所 2階 特大会議室 エレベーター側

■出席委員:

小澤委員長、藤田副委員長、有村委員、恩地委員、中嶋委員、中西委員、福田委員、山元委員、  
NGUYEN委員

■欠席委員:

亀田委員

■事務局:

長部長、岡田副部長、角課長、齊木係長、中司主事

■傍聴者:

2名

### 1. 開会

---

### 2. 審議事項

---

【委員長】

事務局から資料について説明をお願いします。

【事務局】

<資料1・2-1・2-2・3に基づき説明>

【委員長】

事務局からの説明について意見や質問等あればお願いします。

【B 委員】

資料 2-2 でこれまでの流れをみて、資料 1 の計画本体が丁寧にまとめられていて、わかりやすくなったと思います。

【委員長】

その他意見等あればお願いします。

**【C 委員】**

19 ページに、「通訳職員配置」や「外国人住民向けの総合相談窓口の設置の検討」と記載がありますが、今後市役所のどこかに、総合相談窓口が設置されるのですか。

**【事務局】**

現状は通訳職員がまちづくり協働課に1名おります。各課から連絡があれば通訳職員にて対応しています。今後も引き続き、タブレットによる多言語通訳のサービスや、AI 通訳機による多言語サービスとあわせて、通訳職員も配置し、総合的な窓口の設置というのは検討していきたいと考えています。いろいろなものを合わせて、制度化していきたいと考えています。よって、総合窓口に向けた取り組みということで段階を踏んで取り組みたいと考えております。

**【C 委員】**

市役所庁舎 1 階の案内窓口に外国人住民が認識できるサインの設置は考えていないのですか。外国人住民がわからずに市役所に来た時に、一目でどこにいけばいいかわかるだけでも随分違うと思う。

**【事務局】**

そちらについては、計画とは別に施設と調整しておりますが、総合窓口業務の委託内容との兼ね合いで、なかなか難しいと話はいただいています。今後ある程度の決着点や手法を含めて調整をしていきたいと思えます。

**【C 委員】**

総合窓口に多言語表記で「わからない方は2階に来てください」という看板や地図を貼ればいいのかと思います。

**【事務局】**

C 委員がおっしゃっていただいた内容等を調整していきたいと思えます。

**【委員長】**

その他にかあればお願いします。

**【F 委員】**

3点ほど質問があります。1点目は、19 ページより、UDCBK の今後の方向性について。この点に関しては多文化共生だけでなく広範囲に及ぶと思えますがこの辺りをもう少し明確にするべきではないかと考えます。

2点目が、30 ページの「(8)大学」の所に、龍谷大学も入れる必要があるのではと思えます。

3点目は、30 ページの市の所で、今後多文化共生を進める中で、もう少しまちづくり協働課のリーダーシップを強く訴えてもらうほうが良いのではないかと思います。合わせて、31 ページの「推進に向けて」で、担当部局をまちづくり協働部やまちづくり協働課にするとインパクトが強くなるのではないかと思います。以上 3 点です。

#### 【事務局】

「推進に向けて」については、担当部局の記載を「まちづくり協働部(まちづくり協働課)」に変更いたします。

龍谷大学については、本市に立地するのは立命館大学になるので立命館大学をとくに強調していきたいと考えています。

#### 【F 委員】

UDCBK は、多方面に様々なことをされておられるので多文化共生を 100%してほしいとは言いませんが、多文化共生の 1 セクションとして頑張りたいという願望です。

#### 【事務局】

UDCBK から草津未来研究所に変更したのは、UDCBK は所管ではないので草津未来研究所に変更すべきという庁内の意見があったので、UDCBK から草津未来研究所に変更したという経過もありますが、F 委員から意見があったということを踏まえまして検討をさせていただきます。

#### 【D 委員】

関係課に草津未来研究所と書かれると何をしているのかが見えにくいです。やさしい日本語サロンだけが、草津未来研究所と関わりがあって多文化共生の一役を担っていただけていますが、UDCBK と書いていけば、知っている人はやさしい日本語サロンのこととつながりますが、草津未来研究所になっているとわかりにくいのではないかと思います。

また、C 委員の一元的相談窓口ですが、市が実行するのが難しいのであれば多少は市民の力を使って社会実験を一度行ってみるのもいいと思います。草津市は6月と9月が外国人住民の出入りが多いのでそういう時に市民の力を借りて社会実験を行う価値はあると考えます。

#### 【事務局】

ご意見ありがとうございます。社会実験等、計画に丸ごと入れるのはなかなか難しいですが、枠組みの中で、具現化していくという一つの手段として、社会実験というのは大きな手段だと思いますので、協働していければと思います。

草津未来研究所につきましては、UDCBK は所管ではなく場所ですので、書き方が難しいところですが、UDCBK を使用されている方にとってはなぜここに UDCBK がないのかという意見については検討させていただければと思います。

【委員長】

例えば、草津未来研究所の後ろに括弧書きで UDCBK と入れればいいのではないのでしょうか。  
その他ご意見をお願いします。

【C 委員】

19 ページより「日本語教室のニーズに合わせた支援の継続および拡大の検討」・「生活オリエンテーションの検討」とありますが、検討と書かれていると実施してくれないのではないかと思ってしまう。

【事務局】

「生活オリエンテーション」については、手法等も含めて研究が必要と考えていることから、検討とさせていただきます。

「日本語教室のニーズに合わせた支援の継続および拡大の検討」の所を、「日本語教室のニーズに合わせた支援の継続および拡充の検討」でいかがでしょうか。

【C 委員】

はい。

【委員長】

なかなか表現は難しいと思います。人材バンク等の道が開けていくと指摘いただいた所も展望がみえてくると思います。

その他意見等ありますか。

【A 委員】

19 ページから、草津市の日本語教室がどこにあるのかがわかりにくいと感じている。また市役所に行ってもどこに行けばいいのかわからず、相談窓口はまちづくり協働課が担当と言ってもその場所すら知らない外国人もいると思う。市役所のどこの窓口に行っても相談窓口がきちんとあることを案内してほしいと思います。

【委員長】

相談窓口がそこにあるということがわかるような方策も立てていく必要があると思います。

【事務局】

窓口の在り方なども含めて考えていきます。

【H 委員】

取組内容に様々書かれていますが、いつやるのかが見えないなと思います。具体的にいつや

るのかを計画には書けないのですか。

**【事務局】**

5年間の計画として、具体的にいつやるのかを予め決めるのは難しいと考えています。市の予算は単年度予算を編成し執行している中で、計画案を担保に各関係課は、中長期的な計画を取り組んでいただくと考えていますので、多文化共生推進の上では、今までなかった羅針盤を作り、羅針盤に基づいて各担当課が5年間で、予算化に取り組んでいただきたいと考えております。それを取りまとめするのがまちづくり協働課で、毎年度どこまで進んでるか、あるいはどんな状況であるかを、確認していく必要があると考えています。

H 委員おっしゃるように、いつやるのということになると、財政部局を交えた中で位置付け落とし込む必要があり、計画の段階では難しいです。羅針盤をもとに、関係課が事業化に向けた努力と、成果を上げていただきたいと思ってるところです。

**【委員長】**

基本案ができ上がった所がまず出発点で、5年単位で行っていくということですね。

**【H 委員】**

では、年度ごとに総括のようなものはするのですか。

**【事務局】**

はい。それがまちづくり協働課の役割と考えています。

**【委員長】**

わかりました。

今後県や国の予算を使っていく上では重要だと考えます。

**【B 委員】**

22 ページ、「働きやすい労働環境の確保」の関係団体の所に労働局を入れるべきなのかなと思いますが国の関係機関とは連携しないのですか。

**【事務局】**

記載方法について検討させていただきます。

**【A 委員】**

「働きやすい労働環境の確保」の関係機関に国際交流協会を入れれば良いと思います。

【G 委員】

それはなかなか難しいと思います。

【C 委員】

そうした要望はわかりますが、国際交流協会としては難しいと思います。

別件で 22 ページの「災害時の支援体制の整備」と 28 ページの「外国人留学生等の能力を活かした地域活性化」に書かれている取組内容の機能別消防団員の部分は「機能別消防団員を中心に外国人住民を対象とした防災講座等の開催」のほうが良いと思います。

【事務局】

担当課に確認をします。

【G 委員】

プラン体系図と基本理念のフォントを他と合わせたほうが良いと思います。また、プラン体系図の枠を丸くしてほしいです。

【委員長】

書体については、できればユニバーサルデザインフォントにしたほうが良いです。

その他なにかありますか。

【E 委員】

一つ一つ練られて作り上げてきたというのがよくわかるのですが、先ほど C 委員も言われたと思うのですが、外国人住民が不安で市役所に来られた時の対応が重要だと感じています。プランは、いろんなところで進んでいきますが、なかでも、外国人住民が草津市役所に来られた際の対応でどういう関わり方をしていくかは大事です。予算も必要だろうし、いろんな配慮も必要かと思うんですけど、再度市役所担当部署へお願いして、やさしい日本語という言葉もありますが、やさしい草津市という形で市役所に行った時に戸惑いなく、対応してもらえれば良いなと思います。せっかくできたプランがスムーズに進行していくために、よろしくお願いします。

【委員長】

今後、積極的に外国人住民のニーズを把握することも大事だと思います。

窓口担当課でヒアリングなどを実施されて情報共有されることもいいと思います。

他にご意見よろしいでしょうか。

【H 委員】

この冊子が完成すればどういったところに配られるのですか。どのように周知されるのか教えて

ください。

**【事務局】**

紙媒体ですと、庁内、各種関係団体、そして市内公共施設、図書館を予定しています。また、市ホームページにも掲載いたします。

**【委員長】**

この冊子を外国人住民の方にも周知するのであれば、別の方法での周知が必要かもしれないですね。

**【事務局】**

外国人住民への周知については、概要版をひらがな書きやルビ書きする方法がいいかなとは考えています。

**【G 委員】**

であれば概要版をもう少しやさしい日本語にするべきだと思います。

**【委員長】**

絵を入れるなどの手法はあると思います。

**【事務局】**

外国人住民への周知については手法も含めて考えます。

**【委員長】**

ホームページや SNS を使って周知を図るのもいいかもしれません。

**【H 委員】**

言語については、英語も考えておられるのですか。

**【事務局】**

やさしい日本語等に取り組んでいくことで、自動翻訳がうまくいくと考えているので、まずはやさしい日本語に取り組みます。

**【H 委員】**

基本理念の部分とかを英語にしてもいいと思います。

**【F 委員】**

ゴールは2025年度ということですが最終年度に施策等が計画通りにうまくいっていないということにならないように中間過程で取り組みのプロセスを公開するような方法も必要かもしれません。

**【事務局】**

検討します。

**【委員長】**

その他にかありますか。なければ、審議事項1を終了させていただきます。

本日頂いたご意見を基に修正させていただきますが、修正については私に一任いただけますか。

**【委員】**

一同了承。

**【委員長】**

それでは本日市長に、答申としてプラン(案)をお渡しします。

**3. 閉会**

---